

おかげさま



あけし安穏堂の願い

まだ、お堂の周辺の整備はすすんでいませんが、お御堂本体は完成し、本願寺第23代ご門主ご染筆の「六字尊号」を奉獻し、入仏とお御堂完成の奉告の法要を勤めさせていただきました。



あけしの郷にご縁がありました（今、同じ世界を生きるすべて人とご縁がございます）すべての方をお偲びさせていただきますご縁とさせていただきますお御堂として、また皆様と直接間接にご縁のあった方やご先祖様ご縁の墓所を遙拝させていただく礼拝堂として、宗祖親鸞聖人の願いであり、あけしの郷の思いである、「世の中安穏なれ 仏法弘まれ」を具現してゆく場として、ご縁のある方々とともに、護持・礼拝してゆきたいと願っています。

◆ それでは、参拝の作法、心得を一つ。いや、そんなに畏まつていただくことはないのですが。

皆さん、よそのお宅をお伺いした時、先ずご挨拶をされると思います。ご挨拶もせずに、ズカズカと上がり込むことはないでしょ。（ウン、ウン）

あいがとう わかげさま 淨土の言葉で ナモアミダヅツ

8月16日 孟蘭盆会法要(大會衆の喜び、歓喜会)

9月18日 響流+方法要 中止

9月22日 秋季彼岸会法要

ともどもに、ご恩報謝のナンマンダヅツ



2020(令和2)年 盛夏号(137)

あけしの郷樹覚寺のご主人は、本堂においでのお阿弥陀さまです。あけしの郷にお出でのせつには、ご本堂のお阿弥陀さまにご挨拶をいたしましょう。「あけし安穏堂」にお出でのときも、ご本堂の前を素通りされるのでなく、先ずはご挨拶ですね。でも、ご挨拶といつても、「コンチワ～！」「オジャマシマ～ス！」ではないのですね。(ワカッテルネ(^_-)-☆)

それでは、静岡の南荘先生に、ご挨拶についてお聞きしましょう。

阿弥陀さまにごあいさつ

静岡 教覚寺 南荘 宏 先生

皆さん、今日はよろしくお参りくださいました。それではまずご本尊のお阿弥陀さまにご挨拶いたしましょう。

「合掌……」

あれ、ちょっと待ってください。背中を丸めて頭を下げ、目をつむっている人が多いですね。お尋ねしますが、皆さんかどなたかにご挨拶をされるとき、相手のお顔を見ませんか？ちゃんと向き合って目を合わせますよね。それに、無言で挨拶するのもなかなか変じゃないですか。

それではもう一度、まず、お念珠を両手にかけます。できるだけ背筋をのばして目を開け、阿弥陀さまのお顔やお姿をご覧になってください。それから阿弥陀さまのお名前(南無阿弥陀仏)をお呼びしますよ。では、

「合掌。ナマンダブツ、ナマンダブツ、……、礼拝」

ハイ、今度は上手にできました。

阿弥陀さまのお顔は、あらゆる人びとを救いたいという願いが成就して、ほほえんでいらっしゃるお顔なのだそうです。そして、私たちに「大丈夫、安心していいんだよ」と、喚びかけてくださっているお姿もあるのです。その安心されている阿弥陀さまのお顔やお姿を目することによって、私の心のなかに、ほのぼのとした安どの思いが沸き起ってくるのではないかでしょうか。

元サッカー日本代表監督の岡田武史さんは、

「人を引っ張っていくものが、少しでも不安なそぶりを見せていけない」

とおっしゃっていましたが、逆に言えば、「大丈夫、まかせておけ」という姿が、ついていく者に大き

< 3 >

2020(令和2)年 盛夏号(136)

な安心を与えてくださるのですね。ですから、お寺の本堂やおうちの御仏壇の前で手を合わせるときには、どうぞ阿弥陀さまの安心されたお顔やお姿を、しっかりとご覧になってください。そしてお念佛申させていただきましょう。

まだ続きますが、ここまでとしておきます。次回は後半をお伝えできると思います。

ご挨拶の仕方はわかりましたか。(ニヤ、ニヤ) 阿弥陀さまと私、お互いに共通で理解できる作法や言葉でご挨拶なのですね。(シャキーン!)



それではもう一度、まず、お念珠を両手にかけます。できるだけ背筋をのばして目を開け、阿弥陀さまのお顔やお姿をご覧になってください。それから阿弥陀さまのお名前(南無 阿弥陀佛)をお呼びしますよ。では、「合掌。ナマンダブツ、ナマンダブツ、……、礼拝」

ハイ、よくできました。

境内水屋の水桶置き場、水道付近に置いてある水桶につきまして、日頃、整理整頓、清潔にお使いいただき、ありがとうございます。

置いてある水桶、「○○家」と書かれている水桶も含めて、どなたでもお使いいただける水桶と理解しています。

他の人に使われたくない方は、ご自身で管理をお願いいたします。

※※ 樹覚寺よりお願い ※※



新しい生活は「和顔愛語」で
おだやかな顔と やさしい言葉

内里そな　ひらまちのくに　豊島区　ひらまちこどもさん　が　「和顔愛語」で　おもてなし　を　おこなう　ため　「和顔愛語」プロジェクトを立ち上げました。





あけし あれこれ アボカド(鰐梨)

なかなか落ち着かない世情ですが、気候も先が読めず身体がついてゆくのに精いっぱいかと思います。寺の植物は雨のおかげさまか、生き生きと伸びています。冬の間家の中に入れてあげられなかった南国の植物も、芽吹きして元気に育っています。その中でアボカドの花が咲いてくれたらいいなあと思います。

アボカド

クスノキ目クスノキ科ワニナシ属

常緑高木およびその果実。

和名はワニナシ(鰐梨)

中央アメリカが原産。低温に弱く、主に熱帯、亜熱帯に生息する。野生のものは樹高が30メートル程になる。果樹園の栽培では接木法をとり、整枝をするので10メートル程の高さになる場合もある。樹形は品種によって異なるが、葉の寿命は短く1年程で、新梢伸長期には大量落葉する。濃い緑色の果実をつける。5月頃に花が咲き、果実の収穫は翌11月から12月頃以降。日本産の植物でもっとも近縁なものはクスノキ科のタブノキ。クスノキ科の植物の葉を食べるアオスジアゲハやその仲間の種の食卓である。

ワニナシという名は、果実の表皮がワニの肌に似ていることに由来。三系統1000品種以上ある中で、日本で売られているものはメキシコ産ハス種です。その栄養価は高く、飽和脂肪酸を多く含み、森のバター、バターフルーツともよばれる。糖分はほとんど含まず、10種類以上のビタミンと11種類のミネラルと食物繊維を含んでおり、この豊富な栄養素はアボカドの脂肪部分に凝縮されている。果実には珍しくビタミンEの含有量が高い。また葉酸やカリウムも多く含む。

